

しのめ

発行 ● 鳥取県立鳥取東高等学校同窓会 東雲会
 鳥取県鳥取市立川町5-210 〒680-0061
 TEL 0857-22-8495
 FAX 0857-22-8497
 Eメール torie-h@mailk.torikyo.ed.jp

出版 ● 株式会社 サラト
 兵庫県姫路市北条宮の町172 〒670-0948
 TEL 079-284-1380
 FAX 079-224-7746

題字 柴山抱海氏 (特別会員)



書道パフォーマンス



同窓会長 石丸 文男 (山24)

ごあいさつ

昨年鳥取東高等学校は創立100周年を迎えました。会員の皆様には、同窓会の記念事業にご理解を賜り、多大なるご寄付を頂戴いたしました。心より感謝申し上げます。皆様からのご厚意は、しっかりと母校の発展のために使わせていただきました。

その一つとして、文武両道を目指す東高生が、快適なトレーニングを積めるよう、古くなっていったトレーニングジムのリニューアルを行いました。令和4年10月27日に贈呈式が行われましたが、本事業にあたっては、初代林重浩校長の御令孫であり、東雲会員(山脈10回)の宇野田祥子様にも多大なご支援をいただきました。

また記念事業のもう一つの目玉である、東高生の海外留学を支援する「しのめ基金」を創設いたしました。これから更に複雑化していく国際情勢をしっかりと理解していくためには、海外留学の重要性は益々高まっており、十分に役立つものと期待しています。今世界では大きな構造変化が起きていると言われています。コロナ禍とロシアのウクライナ侵攻により、

世界規模で進んでいたグローバル化が見直されています。政治においても、経済においても、単純な拡大を見直し、新しいグローバル

ゼーションを模索する動きが出て来ています。より複雑化する国際情勢を正しく理解するためには、若い時に海外を知り、国際情勢に関心を持つことが大きなアドバンテージになります。将来何処で、どのような仕事に就こうと、海外留学の経験は大いに役立ちます。新しい形のグローバルゼーションがどのような形になるかと、地方においても世界との関わりを正しく理解することは重要なことです。既に「しのめ基金」を利用した第1号の留学生が誕生しました。出来るだけ多くの東高生に、この先も長く海外留学を経験してもらいたいと思っており、恒常的に「しのめ基金」への寄付の受け入れを続けたいと考えています。

その他にも図書館書架の改修など、母校の発展と生徒のために使わせていただきました。ありがとうございました。

またコロナ禍の中、開催が出来るかどうか不安があった記念講演や記念式典も、人数を制限してではありましたが無事開催されました。鳥取東高等学校は次の100年に向かって歩き始めました。我々同窓会も一緒に歩き続けたいと思います。会員の皆様、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。





新任のご挨拶

校長 原田晋一 (山35)



鳥取東高同窓会（東雲会）の皆様におかれましてはますますご壮健にて、各界において多彩な活躍をされておられることに心からお慶び申し上げます。また日頃より本校の教育活動に温かいご支援とご協力をいただきお礼を申し上げます。私は中島靖雄校長先生の後任として本年度より校長を拝命しております。原田晋一と申します。母校のために精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

学校創立百周年を迎えた令和4年度は新型コロナウイルス感染症の禍中であったため、創立記念日の6月23日に開催した記念講演会は在校生のみでの実施、9月7日の創立百周年記念式典も人数を制限しての開催とせざるを得ず、ご案内が叶わなかった同窓生の皆様に、この場を借りてお詫び申し上げます。また、この日に予定していた記念祝賀会は、令和5年度中の開催を考えているところです。

その他の記念事業としては、創立以来百年間の写真等の展示会、創立70周年時に寄贈いただいたトレーニングジムの機器の更新、図書館の本棚の更新、『創立百周年記念誌』及びその『ダイジェスト版』の刊行、さらに、『しのめ基金』の創設を行いました。早速、多くの部活動で新しいトレーニングマシンを使って、フィジカル面の向上を図っています。しのめ基金についても、1名ではありませんが、すでに留学支援

を行ったところです。あらためて、本校同窓会の皆様の温かいご支援ご協力に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、私は昭和59年3月卒業の山脈35回生です。私が生徒として在籍していた頃、「規律ある自由」の校風のもと創立60周年記念式典がありました。記念講演として「マタギ」という映画を体育館で鑑賞したことは明瞭に覚えています。当時の東高は就職、私立大学文系、国立大学を志望するクラスがあり、いろいろな志望を持った生徒に対応する学校でした。それから40年、時代は遷り、現在は「三兎を追え」を合い言葉に、主体性を育むための教育活動を実践する中で、多くの生徒が国立大学を目指す学校になっていきます。この春の卒業生275名のうち、国立大学合格者は144名を数え、かつてを大きく上回っています。ただ、難関大学に向けては強化を図っていないかなくてはならないと考えています。これからの百年、時代の要請に合わせ、校風や伝統には変わっていく面もあるとは思いますが、本校の泥臭く諦めることなく高い志を持って最後までやりきる精神は、何としても生徒たちに伝えていきたいと思えます。どうか同窓会の皆様におかれましては、引き続き温かく、厳しく見守りくださいませう、お願い申し上げます。新任の挨拶とします。

創立100周年記念事業報告

(1) 記念講演会

実施日：令和4年6月23日（木）
 場所：鳥取東高 第1体育館
 講師：中江康人氏
 演題：今日までの100年、明日からの私
 （カンヌ国際映画祭パルムドール受賞作品『万引き家族』制作会社CEO）



(2) 記念式典：令和4年9月7日（水）

場所：とりぎん文化会館 梨花ホール

・感謝状授与

東京東雲会 鈴木名誉会長
 京阪神東雲会 岡田会長
 本部 常田名誉顧問

- ・記念演奏会（同窓生他4名参加）
- ・資料展示会（鳥取東高しのめ館）

(3) 『しのめ基金』創設

(4) 創立100周年記念切手シート発行・贈呈式

（限定200部販売一完売）

(5) トレーニングジムリニューアル・贈呈式

(6) 学校図書館書架一部リニューアル

(7) 創立100周年記念誌（200部限定発行）

記念誌ダイジェスト版発刊（1,300部限定発行）

収支状況（令和5年4月30日現在）

収入の部		（単位：円）
募金総額		32,432,018
内訳	募金	26,832,018
	広告	5,600,000
支出の部		
支出総額		22,984,073
内訳	記念講演会	175,155
	記念式典	716,744
	記念誌	5,081,140
	トレーニングジム	12,133,570
	図書館書架	1,367,630
	事務等諸経費	3,509,834

（令和5年3月9日しのめ基金一部執行済）

新しい本棚で使いやすくなった図書館

総務部図書係 司書主任 高橋和加

このたびは、創立百周年記念事業の一環として、図書館入口付近の壁面に新しい本棚一式を寄贈していただき、ありがとうございました。

本校図書館では、「総合的な探究の時間」などの授業活用が年間200回以上あり、1～3年の生徒全員が頻繁に利用する場所となっています。「地域活性化」や「SDGs」など調べた内容を進路に活かす人も増えており、このような探究型の学びに対応できるよう、新しい本棚は特別展示用スペースや進路調べコーナーとして活用しています。

棚板が可動式になったことで、目線や展示物に合わせて棚の高さを調整できるようになり、生徒・職員にとってより使いやすい環境になりました。また、収納冊数も増え、見た目の印象も明るくなり、生徒の学習意欲も高まっています。利用した生徒からは、「本が探しやすくなった」、「ワクワクして色々読んでみたくなる」と大変好評です。生徒が生き生きと本を読み、自ら学ぶ姿を見て、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも多くの生徒たちが本と出会い、自分の未来に向かって羽ばたくことができるよう、末長く大切に活用させていただきたいと思います。生徒のために学びの環境を整えていただき、本当にありがとうございました。



最新のトレーニング機器で目標達成へ!

保健体育科主任 福長正彦

本校には、70周年記念事業で建設されたトレーニングルームがあります。規模は生徒教室の約3倍の広さで、中に設置されているトレーニング機器はワールドウイングを運営されている本校26回卒業生の小山裕史さんが選定されたものです。設置後30年、多くの生徒が筋力づくりに役立ててきました。使用頻度も高く故障することもありましたが、そのたびに修理して大切に利用してきました。令和4年度には創立100周年記念の節目として、トレーニングルームを新調していただけることになりました。多様なニーズに対応できる「ユニバーサルな観点」と、今ある機器も大切にする「SDGsの観点」を持ち合わせたトレーニングルームを目指そうと職員と生徒で構想を練りました。車いすの生徒が利用する場合に移動しやすく車輪が滑らないように、床をフラットなゴム素材に変えました。ケガや病気で筋力が著しく低下した生徒がリハビリでも利用できるように軽い負荷から重量設定できるマシンを導入しました。限られたスペースに新旧トレーニング機器を動線よく配置できるように、専門家の意見も参考にしながら設置方法を工夫しました。30年前に、「部活動で活躍する生徒の育成」を願って作られた本校トレーニングルームに、「健康づくり」の要素が加わり、より多くの生徒に価値を提供できる空間に生まれ変わりました。寄付してくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、次の世代にも引き継げるように大切に使用していきます。本当にありがとうございました。



最新のレッグプレスマシン



トレーニング機器贈呈式 令和4年10月27日



書道部デザインのクリアファイル



美術部デザインのトートバッグ

創立百周年記念 生徒作成の 記念品

東京東雲会
令和4年度
東京東雲会公総会開催
 幹事長 奥田真二(山23)

東京東雲会令和4年度総会が、3年ぶりに7月2日(土)於「法曹会館」で開催されました。春先からの5月まで、そして7月末から9月末へかけてのコロナ感染拡大の端境期で、小康を保っていた時期での開催となり、感染対策に万全を期して参会者全員へ、食事時の黙食・会話時のマスク着用をお願いしての開催となりました。

冒頭、出席者全員でマスク着用のまま校歌を斉唱、久しぶりの校歌に出席者の顔も綻び総会が開会。林田英樹東京東雲会長から、「3年ぶりの開催となり、楽しみにしておられた方も多いのでは。母校の100周年の年にこうして開催出来たことを何よりうれしく思う。100周年の記念事業にも



「開催されてよかった」と受け止められ、またお子様連れの参加者もあり、子育て世代の参加・家族連れの参加等、今後の『東京東雲会』の総会等の在り方」に

協力していきたい。」と挨拶を頂きました。次いで会計報告等の議事後、中島校長から「100周年を迎え式典を9月7日に開催すること、現在の母校の様子等」をお話いただきました。特に「コロナ禍で頑張る学生」のお話には感慨を覚えました。

その後は、渡邊純子さん(山脈62回)のホルンの演奏、クラシックの楽曲から歌謡曲まで演奏され、ホルンの柔らかな音色に聞き入り、途中演奏をバツクに歌われた方もあり、大いに盛り上がりました。

そして、鈴木誠名誉会長の音頭で乾杯、懇親会がスタート。鳥取からお土産に頂いた竹輪やスイカ等を肴に、また「若手役員による100周年を振り返るスライド上映」を覗つつ旧交を温めあう、いつもの総会が帰ってきた感でした。最後は恒例の『福引大会』で締めくくり、アットホームな東京東雲会総会もフィナーレ。明年7月1日(土)の再会を期して散会となりました。柏葉25回から山脈62回の会員、滝波東雲会事務局長、京阪神東雲会岡田会長、鳥取県東京本部堀田本部長等の来賓を含め55名の出席者でした。コロナ禍ではありましたが、参会者からは

「開催されてよかった」と受け止められ、またお子様連れの参加者もあり、子育て世代の参加・家族連れの参加等、今後の『東京東雲会』の総会等の在り方」に

「開催されてよかった」と受け止められ、またお子様連れの参加者もあり、子育て世代の参加・家族連れの参加等、今後の『東京東雲会』の総会等の在り方」に

「開催されてよかった」と受け止められ、またお子様連れの参加者もあり、子育て世代の参加・家族連れの参加等、今後の『東京東雲会』の総会等の在り方」に

「開催されてよかった」と受け止められ、またお子様連れの参加者もあり、子育て世代の参加・家族連れの参加等、今後の『東京東雲会』の総会等の在り方」に

東海東雲会
令和4年度
東海東雲会活動報告
 会長 中川 澄(山17)



令和4年9月7日(水)鳥取東高等学校創立百周年記念式典出席

コロナの流行が始まって以降初めての帰鳥でした。ついに後期高齢者になりました。さすがに、走る気にはなかなか成りません。危険回避の時だけ！週2回のバドミントン、毎週のボウリング、毎週の合唱団、月2回のヤマハゴスペル教室、月1回のカラオケ。合唱団は3月26日にモーツァルトの「レクイエム」をメインに演奏会を終了し、今、少し燃え尽き症候群です。カラオケは30代の声と言われます。DAMのシンブル採点で1000点、精密採点で96点が出ます。

当初の目標体重65.5kgに12月に到達し、その後目標体重を65kgに変更して現在63kg、64kg台をキープしています。極たまに65kgオーバー。

令和2年コロナ禍の4月7日「緊急事態宣言」が発せられてから運動不足となり、体重の増加3kg(71kg)を記録した4月末より毎日の散歩を始めました。以来一日も休まず一日平均8千歩を歩いています。

この年は阪神淡路大震災の年で、幹事を引き受けたのはその年の7月でした。「震災で同窓会どころではないだろう」という中、「辛いときだからこそ安否確認の意味もあり集まろう」という機運へとたかまりました。呼びかけた同期の方と懇親会の企画について熱く語りました。

鳥取県関西本部での同窓会の情報交換会でも役員の高齢化と参加者の減少が毎年課題になっておりました。当会では山脈10回から次のような当番幹事制度を採用しました。年齢的に50才を過ぎたころの京阪神在住の回生が同期へ呼びかけて、京阪神の友人たちが一堂に会して懇親会を企画し旧交を温めようとするものです。この制度は同窓会の若返り、執行部の補強、次世代への支部組織の継承が狙いです。1995年(平成7年)に、私も声が掛かりました。

京阪神東雲会
同窓会活動は
冬の時代
 会長 岡田俊一(山12)



コロナ禍の閉塞感に日本全土が覆われた3年間でした。やっと元の生活が戻りつつあります。

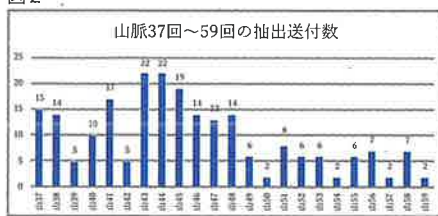
図1は昨年新たに山脈37回く59回へ郵送した人数です。本部の名簿と支部で更新している住所へ出しました。グラフから山脈50回を超えると住所登録数が極端に減少していることが読み取れます。残念ながら返信葉書や会費の納入などの反応のあつた方は、若い世代からはほとんどありませんでした。その原因として次のことが考えられます。

- ①個人情報保護の意識が定着し同窓会名簿へ住所を提供しなくなりました。
- ②少子化が進み卒業生の総数が減少している。
- ③京阪神地区への居住者が少ない。
- ④同窓意識が希薄になりこの手の呼びかけはスルーする。
- ⑤日々の生活に追われ余裕がない。これらの要因が複合化しています。そして、決定的になったのはコロナ禍における自粛生活が3年間続いたことです。

さらに、「ルフィを名乗る特殊詐欺

依頼、同封した葉書での近況報告のお願いをしていきます。

図2は昨年



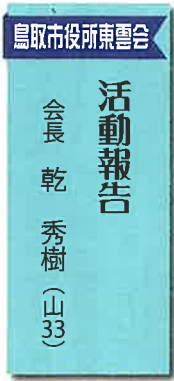
ループの事件」が大々的に報じられ、「闇名簿」への個人情報流出の警戒感が広がっています。

当番幹事制が機能していたころ、数十年を経て新しい出会いと交流の場が広がるのを私たちは見てきました。同窓生同士は前置きなしで学生時代や郷土の共通の話題で繋がる事ができます。

厳しい冬の時代に直面をしています。が、コミュニティのオアシス再現を目指します。

ホームページやSNSなどを取り入れ、多様化した世代や生活スタイルに応じた取組や、東京支部との情報の共有を通じて支え合います。

当会の情報は左記ホームページで発信しています。
<https://keihanshin-shinonome.club/>



鳥取市役所東雲会は、1982年(昭和57年)に発足して以降、会員相互の親睦を図り、日常の市業務を円滑に行うことにより、市政の伸展に寄与することを目的として活動を展開しています。会員構成は、鳥取市役所をはじめ、鳥取市水道局、鳥取市立病院、そして鳥取県東部広域行政管理局で働く鳥取東高等学校の卒業生約350名で成り立っています。

当会の年間事業として、毎年1月下旬に開催する「定例総会兼懇親会」、毎年8月上旬に開催する「夏季練成会」が重要な活動となっています。いずれの事業も、約150名程度の会員が参加する他、同窓会長、校長先生、鳥取東高等学校を卒業したことを所縁に顧問として就任いただいている深澤義彦市長、尾室高志教育長、市議会議員の皆様を来賓としてお招きし、盛大に開催しているところです。各事業では、校長先生から現役後輩達の活躍をお聞きするほか、地元特産品を景品とした抽選会やマグロの解体実演ショー等のお楽しみ企画を実施してきました。しかし、コロナ禍の影響で令和2年4月以降は、残念ながらいずれも開催を自粛しております。令和5年になり、ようやくコロナ禍に終止符が打たれることが現実味を帯びてきましたので、まずは令和5年度夏季練成会の開催に向けて、久方ぶりの会員の親睦を深めることができる企画に向けて準備を進めているところです。

また、母校への貢献も同窓会組織としての重要な使命と考えています。具体的には、毎年、母校の部活動を応援するためにクラブ活動助成金と全国大会出場応援金を贈呈していることに加え、昨年度の創立100周年の折には募金事業に呼応する形で特別寄付を行い、後輩達を応援したいと気持ちを表すべく、長年にわたり取り組んでいる事業です。

最後に、昨年度には、創立時の功勞者である徳田平市翁が鳥取市名誉市民に認定されました。母校に深い関わりをもつ偉人の鳥取市名誉市民認定に誇りを抱くとともに、この先の100年を皆様と共に創り上げて参りたいと考えています。

令和5年度 同窓会(東雲会)定期総会及び各支部総会の日程について

下記の日程で予定しておりますが、社会状況により延期・中止となる場合がございます。今後の詳しい状況・日程につきましては、鳥取東高または各支部のホームページ等でご確認ください。

鳥取東高等学校同窓会 東雲会総会ご案内

日時 令和5年8月5日(土)
役員会 午後3時00分から
定期総会 午後3時30分から
懇親会 検討中
会場 白兔会館 (鳥取市末広温泉町556)
電話(0857)23-1021

詳細が決まりましたら以下のホームページにてお知らせいたします。

◎東雲会本部のホームページ

<https://sites.google.com/view/torie-shinonome>

京阪神東雲会総会ご案内

京阪神東雲会では関西のコロナ禍のために総会の中止が続きましたが、4年ぶりに開催することになりました。

日時 令和5年11月18日(土)
会場 大阪キャッスルホテル 6階
受付 12時00分
総会 12時30分～13時00分
懇親会 13時00分～15時30分

具体的な詳細は、次のサイトでお知らせします。

◎京阪神東雲会のホームページ

<https://keihanshin-shinonome.club/index.htm>

◎京阪神東雲会 (facebook)

<https://www.facebook.com/groups/tottorihigashi>

岡田俊一 (京阪神東雲会会長)

東海東雲会総会・懇親会

日時 令和5年11月12日(日)
会場 未定
4年振りの開催です。皆様との再会を楽しみにしています。

東京東雲会総会ご案内

日時 令和5年7月1日(土) 12:00開会
会場 『法曹会館』
〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-1-1
一般財団法人法曹会|法曹会館 (hosokai.or.jp)
会費 一般 5,000円 学生 1,000円

その他：お子様連れ、介護者連れの参加は可能ですので事前にお知らせください。未就学児については会費を頂戴しません。

講演会・音楽イベント・福引会を企画しております。

詳細お知らせは、5月末にお知らせするほか、以下のサイトにて告知致します。

公式ホームページ：<https://tokyo-shinonomekai.jimdo.com/>

感謝状を授与されて

在校時代の思い出

東京東雲会名誉会長

鈴木 誠 (山5)



昨年九月七日約八年振り、母校東高の百周年記念式典に出席させていただきました。その際は感謝状までいただき有難うございました。私は昭和二九年の卒業で山脈五回生ですが、間もなく米寿を迎えることとなります。この間約五〇年に亘り東京東雲会のお世話をさせていただいたということで感謝状までいただきました。私は東高を卒業後中央大学に進学し、卒業後弁護士となつて東京に事務所を持っています。その当時東京東雲会の事務はほとんど柏葉七回生の浜本清海先生がお一人で担当されていました。浜本先生は当時東京神田の中学で副校長をされており、生徒のいない土曜日の午後などに会の名簿の整理、通知の



宛名書、会場の設営などを行っていました。そんな状況の中私は同期の中島睦夫君や岸本郁夫君と一緒にこれらを浜本先生から引継ぎ、約五〇年に亘って行っていました。とても楽しい業務でした。毎年の総会で現職の校長先生にご出席いただき、出席者全員で校歌を合唱し、故郷へのびました。この度はこれらので母校に評価していただき百周年の感謝状までいただき甚だ恐縮しております。本当に有難うございました。



在校中の思い出となりますが、昭和二七年四月のあの鳥取市の

京阪神東雲会 70周年の系譜

京阪神東雲会 会長
岡田 俊一 (山12)



今年の11月には4年ぶりの開催を目指しています。

本紙別項の「同窓会活動は冬の時代」で支部活動の厳しい現状をまとめましたが、本年右記の会合が開催されれば支部を結成してから70周年の記念すべき年となります。

平成10年(1998)に当会の広報紙を創刊しました。そこでは、特集「鳥取が気になるこの頃」として歴代幹事の方々が寄稿されています。記事の依頼をする過程で、母校の貴重な資料や同期生で発行している冊子、母校への思い等が寄せられました。

昭和25年(1950)に松浦昇(柏葉1回)会長の呼びかけで京阪神東雲会は産声を上げました。当時はツテを頼つて集めた住所に手書きの案内で同窓生を集めたと伝え聞いています。

平成12年(2000)には50周年を迎え、記念の当会の横断幕を作成しています。これには母校の甲子園出場の願いも込められていました。

近年では、令和2年(2020)から昨年までは、コロナ禍のため総会と懇親会の中止が続きました。

当時、渡辺恒温(柏葉22回)様からは、ご自身が参加された総会の記録が送られてきました。母校からの参加者の名前も手書きで記録をされ、次の記述があります。

「昭和49年(1974)は1、400人に案内を出し住所不明が300人。昭和52年(1977)は1、123人に対して住所不明209人、271人が返事なし、309人の返事があり、50人が出席の返事。」

「古代東高史」の執筆を頂いた倉恒貞夫(山脈3回)先生からは、資料として鳥取東高学園新聞第

